

あさひユニット

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	2	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホームいろはのご案内パンフレットと共に基本理念・努力目標を提示した資料を作成している。また、リビングにも表示している。居心地の良さをキーワードに住み慣れた地域で安心した暮らしを理念の柱に置いた。	0	
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ミーティングや事例検討会、担当者会議等での際、具体的なケアについて話し合い、理念にも触れ、確認している。又努力目標についても向上心をもって取り組めるよう定期的に評価を行っている。	0	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	日頃から家族の訪問時には理念を交えた話をしていく。家族会や運営推進会議の時は、理念に基づいたエピソード等を話している。また、いろはだより（広報紙）に理念を掲示し定期的に家族や地域に発行している。	0	
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域交流センターの行事の際は地域の人々と活動を一緒にしている為近隣に住む人達とふれあう機会が多い。又入居者の知人が近所に暮らしている為、時々訪問される。	0	
	5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のお祭りや盆踊り、催し物等に参加している。又法人内の文化祭や他事業所のイベントにも参加している。地元高校生のボランティアも受け入れ、交流の機会を作っている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	消防署の方々に来ていただき、高齢者を対象とした救命講習をした。地域交流センターの活動行事に参加し、絵てがみの会や、毎月のイベント等を通して話し合いの場を作っている。	0	
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	0	
	3 理念を 実践す るため の制度 の理解 と活用	7 外部 評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義を、目的を伝え、自己評価を全職員で行い、取り組むようにしている。改善計画シートを活用し、実践につなげている。	0	
		8 外部 評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議ではいはでの取り組み、近況報告、活動状況など随時報告している。参加メンバーからは様々な意見交換が行えており、質問・意見・要望等を受け、検討事項や経過報告をし合い、サービスの向上につなげている。	0	
		9 外部 評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市職員による市の事業を交流センターで行うことを受け入れている。市役所で行われる研修等も参加している。事故等が発生した場合市の担当者と事業所の実情やサービスの取り組み方について話し合い、アドバイス等をもらっている。	0	
		10 外部 評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	市役所、包括支援センターに依頼し、成年後見制度について内部研修を行いスタッフの理解を深めるようにしている。	0	
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々のミーティングでは身体拘束について話し合いの場を設けている。高齢者虐待防止法について内部研修を行い職員間でカンファレンスを実施した。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0	
理念に基づき 運営	理念を 実践す るた めの 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に契約書、重要事項説明書と共に説明を行い理解、納得を図っている。入居後も疑問点など問合せがあれば随時説明、理解、納得を図っている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月に2回程あんしん介護相談員を受け入れている。又法人職員による絵てがみの会をいちは内で活動してもらい、入居者が第三者と会話できる場を設けている。行事のとき等にはボランティアの方に来ていただき、出された意見は今後のケアに活かせるようにしている。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時は利用者の状況を話し合っている。定期的なかかりつけ病院への通院を行っており、家族に健康状態を報告している。金銭管理やスタッフ異動等も家族訪問時に随時報告しているが、毎月10日に郵送する請求書の案内にも近況報告している。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日頃より管理者及び職員は家族訪問時に意見や要望を受け止め、対応するよう努めている。又、運営推進会議や家族会で自由な意見交換ができる場を設けており、スタッフ間でミーティングを行い、サービスに反映している。最近は家族同士のプライバシーに配慮し、個別に相談や話し合いができる体制をとっている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常的にコミュニケーションを図るようにしている。能力開発カードを用いて定期的に個別面談を行い意見を聞くようにしている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者、家族のニーズに応じて必要な時間帯の調整を行い、職員間の話し合いで勤務の調整も行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	日頃から入居者、職員他ユニットへの行き交いは自由であり、なじみの関係、環境を作っている。異動の場合1名ずつ行い、利用者へのサービスの質の低下がないように配慮している。離職ががやむを得ない場合もその時期や引継ぎができるようにしている。	0	
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	2	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	年齢、性別関係なく、公平性を意識している。資格取得などに向けての権利を尊重している。また事業所でできる限りの支援をしている。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	外部研修等で参加できる体制を作っている。	1	法人研修や内部研修に取り入れ、人権等について深く理解する。
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月、法人内研修があり、職員、パート職員も参加できない職員には伝達講習をしている。又必要に応じて外部研修に行き、伝達講習を行っている。	0	
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームの研修が行われるネットワークに加入し、外部との交流を図っている。	1	相互訪問などの活動も検討している。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人内での親睦会は定期的に行われている。日常的にコミュニケーションを図る際、悩みやストレスを把握するよう努めている。又定期的に個別面談を実施している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	毎年法人内学会を開催し、向上心が持てるよう動機付けしている。能力開発カードを用いて努力目標を設定しケアの質が向上できるようにしている。職員と面談する機会を設けている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	1	
安心と信頼 に向けた関係作り と支援	1		相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)	自己評価4項目・外部評価1項目	1	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前面談で生活状況を把握するように努め、ご本人の求めていること、不安なこと等を聴くようにしている。早急に対応が必要な場合は、可能な限り柔軟に対応している。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族が求めているものを理解し、事業所としてどのような対応ができるかを入居時や契約時などに事前に話し合う機会を作っている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、家族の思いや状況を確認して、地域の病院施設や居宅のケアマネージャー、包括支援センターに相談することがある。	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が利用前に見学していただき、職員も自宅を訪問し、徐々に信頼関係を築きながら利用していただいている。やむを得ない場合は家族に来てもらい安心感を持ってもらうようにしている。	1	本人や家族の希望に応じて、体験利用も可能な体制を作っている。
	2		新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0
	係り2 継続 これ な ま ま の 支 援 開 く	29 外部 評 価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理や畑作業などを一緒に行う中で、利用者は人生の先輩として敬うことを共有しており、利用者から学んだことは感謝の気持ちを伝えている。また職員が入居者からいたわってもらったり、励ましてもらうことがある。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の訪問時は日々の生活の様子や気づきを共有して、家族と共に協力していくことを伝えている。行事には家族への参加を呼びかけ、イベントを通して利用者と家族がコミュニケーションできるようにしている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の思いや状況を見極め、家族とのこれまでの関係を考慮し、ミーティングを行いスタッフが調整役になるように心がけている。場合によっては外食や外出をして、家族と一緒に過ごすことを勧めている。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者が昔から行きつけている美容室等に行けるよう支援している。これまでの生活習慣を尊重した取り組みを行っている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の関係を職員が共有できるように申し送り時は具体的にしている。食事やお茶等、職員と一緒に過ごし利用者同士が円滑になるよう働きかけている。	0	
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の事業所に移られた方を時々訪問している。退去後も再度入居できることを説明している。他施設に移られた方がグループホームへ遊びに来られたことがある。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	2	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	1	
1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、会話を大切にし、利用者の願いなどを察知し、その方の意に添う事ができるように努力している。意思の疎通が困難な場合は家族や知人から情報を得るようにしている。	1	今後も利用者がどのように生活していく事が最良なのか家族を交え検討していく。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時に自宅に訪問したり、家族等からこれまでの生活歴を把握している。利用者とは話すときはプライベートに配慮しつつ、利用者の歴史やサービス利用の経過を知る。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者の生活リズムを理解し、できる能力を最大限発揮できるように事例検討したり、担当者会議等で話し合い情報を把握するようにしている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	1		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価 18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の関わりの中で、本人の思いや家族の意見を聞き小さいことでもケアプランに取り入れ、反映させるようにしている。見直しの時は一人ひとりのその時点に沿った利用者主体の暮らしを支えるようなプランに取り組んでいる。	0	
		39 外部評価 19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者の状態に応じて検討、見直しを行っている。入院などにより身体状況に変化がある場合、随時職員間の話し合いの場を設けている。また、家族との相談、説明を含めサービス内容を作成している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	本人の言葉やエピソード等は常に記録している。日常の記録で情報を共有し、担当者会議やミーティングで介護計画の見直しに努め、以後のケアに反映させている。	1	ケアの実践に対して気付いた考察を記入できるよう取り組みたい。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価 1 項目・外部評価 1 項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価 20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じて、かかりつけ病院への通院支援をしている。ドライブや買い物などの希望にも柔軟に支援をしている。その日の利用者の希望に応じて外食への支援も行っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	0	
			42 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防士による救命講習をいろは内で行った。運営推進会議で民生委員やボランティア、市議員の方々と利用者を変え、意見交換できる場を設けている。	0	
			43 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問理容サービスを利用して頂いている。又利用者の希望等を取り入れ、配食サービスも時々利用している。地域のケアマネージャーと連携を図り、利用者の相談や希望など事業所だけで抱え込まないようにしている。	0	
			44 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議は必ず地域包括支援センターのスタッフに参加していただいている。地域での情報交換もでき協力関係を築いている。成年後見制度について包括支援センターに依頼し、内部研修を行った。	0	
			45 かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的にかかりつけ病院に受診しており、連携をとっている。往診体制をとっている利用者もあり、複数の医療機関と連携をとっている。	0	
			46 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	医療法人に内科があるため指示や助言を受けているが困難事例などはかかりつけ病院とは別に認知症に詳しい医師に困難な事例などを相談している。	0	
			47 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員を中心に健康状態を把握している。看護職員不在時の急変時は確実な連携をとり、緊急対応マニュアルに沿って行動するよう努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された場合、早期退院に向けて、Dr.病院関係者との相談、情報交換を行っている。回復状況等をみながらグループホームで対応可能になった段階で退院できるよう入院施設と話し合っている。	0	
		49	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に伴う意思確認書を作成しており、本人や家族との話し合いの場を作り、事業所として対応できるケア等について説明している。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人、家族の意向を踏まえかかりつけ医や職員が連携をとり事業所としてできること、できないことを見極めるよう心掛けている。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	受け入れの際は本人、家族へ事業所での生活について十分説明を行い、居住移転時には介護サマリーを作成し、支援内容や注意点等を情報提供している。これまでのケアプランも渡すようにしている。	0	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目	2	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	2	
		(1)	一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		52	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日常にかかわりの中で、プライバシーに関することはさりげなく言葉かけで対応する配慮を心がけ、個人情報については守秘義務に努めている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の言葉や行動は出来る限り尊重している。利用者の希望や関心、嗜好などを日常の中で選びやすい場面を作っている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部 評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の暮らしの中で、一人ひとりの希望を受け止め、できるだけ個別性のある支援をしている。利用者の生活スタイルに合わせ柔軟に対応している。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	0	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	利用者の希望に応じて、馴染みの美容室へ行けるよう支援している。着替えや身だしなみ、化粧、おしゃれは利用者の出来る能力を見極め支援している。	0	
		56 外部 評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の状況、材料、メニューに応じて共に調理準備、後片付けをしている。又栄養士を中心に利用者と相談しながら献立づくりをしている。また、利用者とスタッフが同じテーブルにつき、同じ物を食べている。	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	職員は利用者の嗜好物を把握しており、お酒の好きな利用者と一緒にお酒を買いに行ったりして日常的に嗜好品を楽しめるようにしている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	職員は一人ひとりの排泄パターンを把握しており、トイレへの声かけ、誘導をしている。出来るだけトイレで排泄できるように本人の能力を見極めるよう努めている。失敗しても傷つかないように配慮している。	0	
		59 外部 評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者の意思を尊重した時間帯、夜間の入浴など、これまでの生活習慣や希望に応じて入浴して頂いている。入浴前はバイタルサインのチェックをし、その日の体調管理に努めている。入浴を拒む人に対して、全スタッフが情報を集め、言葉かけや対応を工夫している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者の生活パターンを大切にしながらも生活のリズムを整えるように支援している。なるべく日中の活動を促し、夜間眠れない時は温かいものを提供したり、話し相手になったりしている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴を把握し、能力を發揮できそうな仕事や料理、掃除、生け花などをお願いしている。何かしていただいたら感謝の気持ちを伝えるようにしている。	0	
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望や能力を見極め、お金を管理して頂いている。お金を持つことで安心感が得られる場合は持っていていただいている。事業所で管理している人でも買い物外出のときは自分で払えるようにしている。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的にゴミ捨て、買い物等に出かけている。又希望に応じて外食したりドライブ等に出かけている。行事企画により、バスで外出する機会を設け、重度の方も体調に配慮し、出かけられるようにしている。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	日常的に外出を希望される方は家族への協力を依頼することもある。遠方への外出は計画を立て勤務調整をしながらバス等を使用し、外出できる機会を作っている。	0	
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事業所のTELを自由にいつでも使用できるよう設置している。自力で電話するのが困難な方には職員が介入し、本人が話せるよう支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	訪問時間は決めておらず、いつでも訪ねて来ていただけるよう配慮している。また、気兼ねなく過ごしてもらおうようスペースを提供している。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	問題提起や申し送り、担当者会議などで身体拘束について確認しながらミーティングしている。	1	法人研修に参加しているが、全スタッフが正しく理解するために定期的に内部研修も行う。	
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関に防犯センサーを設置したが、利用者の外出傾向を把握し、さりげなく声をかけたり、一緒に外出しついでにいくなどの対応をしている。また安全面を考慮し、支援している。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	リビングにいる職員は常に利用者と同じ空間におり、利用者の状況を把握している。居室で過ごしている利用者に対してはプライバシーに配慮しながら様子を把握している。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険物(包丁、はさみ、針、洗剤等)は利用者の状態、能力に応じて見極め、使用していただいている。安全のため職員も一緒に行うようにしている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故の可能性のある利用者については事例検討や担当者会議を行い、一人ひとりの状態、能力に応じて対策を検討している。定期的に法人内研修、伝達講習を受けている。防火訓練、避難訓練は利用者と共に定期的に実施している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防士による救命講習を全職員受講しており、法人内研修も受けている。夜間時などは緊急時対応マニュアルに沿って実施している。	1	骨折、発作、誤嚥、意識障害、低血糖などに適切に対応できるよう研修機会を増やす。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	運営推進会議で民生委員や家族、地域住民の方に協力体制を依頼している。年2回定期的に防火、避難訓練、消火器の取り扱いについて訓練を受けている。又法人内研修に参加、伝達講習を受けている。法人内で非常食も準備している。	0	
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者の疾患や起こりうるリスクについて随時家族に説明している。利用者の能力を見極め暮らしの中でその人らしく過ごせるように話し合いに努めている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	利用者の些細なことでも変化に気づき異常の早期発見に努めている。利用者の疾患を把握するように努めており、変化時は記録を心がけ、看護師と連携をとり情報を共有している。又家族にも報告し、医療機関への受診につなげている。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方薬名、効用、副作用を利用者一人ひとりの記録物に綴じてあり、内容を把握できるようにしている。内服薬の変更や利用者の変化時はかかりつけ医療機関と連携をとっている。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	利用者一人ひとりの排泄パターンを記録している。便秘傾向の方には食物繊維や乳製品を取り入れている。本人の気分や希望に応じて身体を動かす働きかけをしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	法人内研修で口腔ケアについて学習している。就寝前は義歯の洗浄を見守り、又は職員が利用者の能力を見極め支援している。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士を中心に全職員がカロリーや水分量を把握している。食事や水分量が低下している利用者は毎日チェック表に記入し職員が情報を共有している。好みの食材を取り入れたり、好みのジュースを提供するなど柔軟に対応している。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	外出後の手洗い含嗽に努め、食事前の手洗いを声かけ、誘導を行っている（ペーパータオル使用）。定期的に法人内研修を受けて、感染症予防、対策について学習している。毎年全職員はインフルエンザワクチンを接種している。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板、包丁、布きん等は使い分け、消毒して使用している。食品においても賞味（費）期限のチェック、冷蔵庫の整理を定期的に行っている。食材は毎日買い出しに行き、当日使い切りになっている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5 項目・外部評価 2 項目	0	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関入り口に花を生け、プランターを置いて季節感を出している。又木製の長椅子を置き、くつろぎのスペースになっている。	0		
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ハード面では利用者が使用しやすい配置を整えている。不快な物音を出さないよう配慮し、直射日光の当たる場所はレースカーテンで調整している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングではない場所に椅子、テーブル、ソファ、ピアノ等を配置し、一人でも過ごせる空間を作っている。	0		
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時から利用者の馴染みの家具、カーペット、カーテン、ソファ等使用していただき居心地のよさに配慮している。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	リビングには加湿器を設置しており、湿度調節をしている。空気入れ換え、温度調節も意識している。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	事業所内はバリアフリーになっており、利用者の能力に応じて、支援している。浴室、トイレ等の居住環境が適しているか、前回の評価を検討し、手すりを設置するなどの見直しを行った。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	利用者一人ひとりのできる能力、わかる力を見極めるように努め、状況や状態の変化時はミーティングをしている。居室の入り口にはメモリアルBOXがあり、馴染みの物を置くことによって混乱を防ぐ等の工夫をしている。	0		
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関周りに季節感のある花や木を植え、ベンチを置くことで、憩いの場所となっている。畑には季節に応じた、作物の種まきから収穫を利用者や家族と共に行っている。車椅子の人も外の景色を楽しめるよう施設周辺も活用している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	2		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。